

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6.7	新人職員や特定技能職員の身体拘束・虐待についての知識を深め、中堅職員以上の日々のケアを見直す必要がある。	全職員、身体拘束・虐待への知識やスキルをあげる。	身体拘束・虐待を行わないケアの継続の為、2ヶ月に一度、委員会で目標を設定し取り組んでいく。	12ヶ月
2	29	年に数回のみ地域の方と交流する機会がない。	地域の方とお客様が交流を持ち、豊かな暮らしを楽しむ事が出来るようにする。	春と秋の地区一斉清掃への参加、夏祭りや文化祭への参加。	12ヶ月
3	51	限られたお客様のみ、電話や手紙でのやり取りを行っている。	全てのお客様が、ご家族様と定期的に電話や手紙でやり取りが出来るようにする。	3ヶ月に一度、手紙やはがきをご家族様へ送る。お客様の様子を動画にし送る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。